

連絡先:自動車局 審査・リコール課 リコール監理室  
 TEL:03-5253-8111 内線42361  
 アドレス:http://www.mlit.go.jp

## リコール届出一覧表

リコール届出日:令和3年6月18日

リコール届出番号	4976	リコール開始日	令和3年6月18日
届出者の氏名又は名称	株式会社 クボタ 代表取締役 社長 北尾裕一	問い合わせ先: 機械カスタマーファースト品質本部 TEL:072-241-1125	
不具合の部位(部品名)	①動力伝達装置(主変速ロッド) ②制動装置(駐車ブレーキロッド)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①動力伝達装置において、主変速レバーに繋がった主変速ロッドと走行用HST(静油圧式無段変速機)を連結するピンの選定が不適切でスナップピンによる連結としたため、ワラ等の引っ掛かりでスナップピンが抜ける場合がある。そのため、そのまま使用を続けると、主変速ロッドがHSTから外れ、最悪の場合、主変速レバーを中立位置にしても、イグニッションキーを“OFF”にしなければ、車両が停止しないおそれがある。 ②制動装置において、駐車ブレーキペダルと駐車ブレーキアームを連結する駐車ブレーキロッドのピン選定が不適切でスナップピンによる連結としたため、ワラ等の引っ掛かりでスナップピンが抜ける場合がある。そのため、そのまま使用を続けると、駐車ブレーキロッドが駐車ブレーキアームから外れ、駐車ブレーキペダルで駐車ブレーキが効かなくなり、車両が動き出すおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、主変速ロッドのHST抜け方向への動きを牽制する金具を追加し、HSTと連結するスナップピンをワリピンへ変更し、平座金を追加する。 ②全車両、駐車ブレーキロッド部のスナップピンをワリピンへ変更する。		
不具合件数	①1件 ②0件	事故の有無	①1件 ②0件
発見の動機	①市場からの情報による。 ②社内からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者に周知させるための措置	・使用者:使用者を把握しているため、直接訪問して通知する。 ・自動車特定整備事業者:全使用者を把握しているため周知の措置は取らない。 ・弊社のインターネットホームページに掲載する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
クボタ	C229	-	C229-10001~C229-16560 平成19年7月9日~平成26年3月28日	①②6,560	販売名: 「ER211」、「HC-E211」
			C229-20001~C229-22257 平成25年8月12日~令和3年5月20日	①2,247 ②2,254	販売名: 「ER211N」
			C229-50001~C229-50146 平成30年4月4日~令和3年5月14日	①145 ②146	販売名: 「V211A」
	C230	-	C230-10001~C230-15974 平成19年7月5日~平成26年3月28日	①②5,974	販売名: 「ER213」、「HC-E213」
			C230-20001~C230-22371 平成25年8月9日~令和3年5月25日	①2,345 ②2,360	販売名: 「ER213N」
			C230-50001~C230-50138 平成30年4月3日~令和3年5月7日	①135 ②138	販売名: 「V213A」
(全2型式)	-	-	(製作期間の全体の範囲) 平成19年7月5日~令和3年5月25日	計17,432台	①17,406台 ②17,432台